



Cisco Unified Intelligence Center

- [新機能, on page 1](#)
- [更新済み機能, on page 3](#)
- [特記事項, on page 4](#)
- [廃止された機能, on page 5](#)
- [削除され、サポートされない機能, on page 5](#)
- [サードパーティ ソフトウェアへの影響, on page 6](#)

新機能

ユーザ エクスペリエンスの変更

このリリースでは、以下のエンティティを作成、編集および管理するユーザエクスペリエンスが向上しています。

- レポート定義
- 値リストおよびコレクション
- スケジュール
- 以下の設定:
 - データソース: データソースがカード形式で表示されるようになったため、ノード（プライマリとセカンダリ）の切り替えが容易になりました。
 - ユーザおよびユーザの役割: ユーザの役割の割り当てに基づいて、[ユーザ (Users)] ページに以下のユーザの役割が表示されます。
 - SC: システム設定管理者
 - SA: セキュリティ管理者
 - RD: レポート定義作成者
 - R: レポート設計者

- VL: 値リスト収集設計者
- D: ダッシュボード設計者
- ユーザ グループ
- ユーザ権限

詳細については、<https://www.Cisco.com/c/en/us/support/customer-collaboration/unified-intelligence-center/products-user-guide-list.html> の『Cisco Unified Intelligence Center レポートカスタマイズガイド』および『Cisco Unified Intelligence Center ユーザガイド』を参照してください。

レポート定義のクローン

このリリースでは、[名前を付けて保存 (Save As)] アクションで保存されるレポートに、関連付けられているレポート定義をコピーすることができます。レポート定義および関連するレポートのコピーを作成する場合は、[レポート定義をクローンする (Clone Report Definition)] チェックボックスをオンにします。

コマンドの設定

このリリースでは、以下の一連の新しいコマンドが導入されています。

- set cuic properties hsts off
- set cuic properties hsts on [秒単位の最大有効日数の値]
- set cuic properties user-audit-logging
- set cuic properties http-cache <on|off>

詳細については、<https://www.Cisco.com/c/en/us/support/customer-collaboration/unified-intelligence-center/products-maintenance-guides-list.html> の『管理コンソール ユーザガイド』を参照してください。

コマンドの表示

このリリース導入されたコマンドは、以下のとおりです。

- show cuic properties hsts
- show cuic properties user-audit-logging
- show cuic properties http-cache

詳細については、<https://www.Cisco.com/c/en/us/support/customer-collaboration/unified-intelligence-center/products-maintenance-guides-list.html> の『管理コンソール ユーザガイド』を参照してください。

ストック レポート: ユーザ監査ログ

このリリースでは、新しいストック レポート、ユーザの監査ログを使用して、ユーザの監査ログ データ（ログインユーザの詳細（名前と役割）、イベントの詳細、更新された列、ユーザの詳細、その他の変更された詳細等）を表示できます。

このレポートの詳細については、実行モードで、レポートから [?] アイコン（テンプレートのヘルプ）をクリックしてください。

更新済み機能

レポート

レポート作成では、タブ ベースのウィザードを使用するようになりました。[フィルタの管理 (Manage Filters)] タブが [デフォルトフィルタの設定 (Set Default Filter)] という名称になり、各レポートの省略符号のアクションメニューで利用することができます。

値リストおよびコレクション設定の制限

このリリースでは、値リストあたりの値とコレクションの最大数は次のように増加しています。

- 値リストあたりの最大値数 = 72000
- 値リストあたりの最大コレクション数 = 7200

改善された用語

このリリースでは、以下の用語が更新されています。

以前の用語	使用法	更新された用語
実行	アクセス権	表示
作成	アクセス権	編集
セキュリティ	ナビゲーション	設定
レポートの実行中はフィルタを表示しない	レポート: フィルタの選択	レポートの実行中にフィルタをスキップする
フィルタの管理	フィルタ ダイアログ ボックス	デフォルト フィルタの設定
共有	エンティティの省略記号のアクション	アクセス権

エンティティの省略記号アクション: アクセス許可

このリリースでは、共有アクションが、各エンティティの省略符号アクションメニューの許可アクションに置き換えられています。

アクセス許可機能の使用:

- セキュリティ管理者は、エンティティの [表示 (View)] および [編集 (Edit)] 権限をさまざまなグループに与えることが可能となりました。
- セキュリティ管理者は、エンティティの [表示 (View)] および [編集 (Edit)] 権限をさまざまなユーザに与えることが可能となりました。
- エンティティの所有者は、[表示 (View)] および [編集 (Edit)] 権限を直接関連付けられているグループに与えることが可能となりました。

クラスタの同期

このリリースでは、ユーザ インターフェイス画面の右上隅にあるユーザ名の下に [クラスタの同期 (Synchronize Cluster)] リンクが提供されています。

詳細については、以下から『Cisco Unified Intelligence Center アドミニストレーションガイド』の「Unified Intelligence Center のキャッシュ」を参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/customer-collaboration/unified-intelligence-center/products-maintenance-guides-list.html>。

通話履歴ガジェット アイコン

このリリースでは、Cisco Finesse の通話履歴ガジェットの不明な番号について、[通話 (Call)] および [編集 (Edit)] アイコン ([アクション (Actions)] 列上) は無効化されていません。

特記事項

可変パーマリンク: エンコード バック スラッシュ

Unified Intelligence Center 12.0 にアップグレードした後、変数パーマリンクの文字「\」を「%5c」でエンコードします。

次に例を示します。

```
https://localhost:8444/cuicui/permalink/?
```

```
viewId=2C3EA4BA10000166000000170A4E5A53&linkType=htmlType&viewType=Grid&refreshRate=3600&userName=Domain\John
```

-

```
https://localhost:8444/cuicui/permalink/?
```

```
viewId=2C3EA4BA10000166000000170A4E5A53&linkType=htmlType&viewType=Grid&refreshRate=3600&userName=Domain%5CJohn
```

移行の制限

- **SFTP パスワードの最大長:** このリリースでは、スケジュールに対して、リモート ロケーション (SFTP) パスワードの最大長は 50 文字に設定されています。そのため、アップグレード後、スケジュールの編集時に、[スケジュール (Schedules)] > [通知先の設定 (Destination Setting)] タブで SFTP 設定のパスワードを変更するよう求められる場合があります。
- **アップグレード中にスケジュールする:** このリリースでは、アップグレード時に実行する予定のスケジュールはトリガされません。このため、アップグレードが正常に行われた後に、これらのスケジュールを手動で実行する必要があります。

CUIC、リリース 11.6(1) ES11

CCE ソリューションで Cisco Finesse をリリース 12.0(1) にアップグレードする前に、CUIC リリース 11.6(1) ES11 パッチをインストールして、Cisco Finesse リリース 12.0 のアップグレード後もレポート ガジェットが Finesse デスクトップで引き続き機能するようにします。

Microsoft Edge の制限事項

Microsoft Edge は、Chrome または Firefox と比較した場合、同じユース ケースについて大量のメモリを消費する可能性があります。そのため、Microsoft Edge を搭載しているユーザは、8 GB RAM の最小設定でシステムを使用する必要があります。

廃止された機能

なし

削除され、サポートされない機能

エンティティの省略記号アクションの共有

このリリースでは、グループ (デフォルトグループ) 内のエンティティに [表示 (View)] および [編集 (Edit)] 権限を与える上で役立つ [共有 (Share)] アクション が削除されています。

アクセス権、デフォルト グループおよびマイ グループ

このリリースでは、以下のデフォルト グループ関連の機能が削除されています。

- ユーザ グループの作成プロセス中の [グループ (Groups)] タブでの [デフォルトグループ (Default Group)] の選択。
- ユーザ作成プロセス中の [全般情報 (General Information)] タブでの [マイグループ (AllUsers) (My Group (AllUsers))] および [すべてのユーザ (All Users)] での [アクセス権限 (Permissions)] の選択。

- ユーザ作成プロセス中の [グループ (Groups)] タブでの [マイグループ (My Group)] の選択。

グリッド ビューまたはチャート ビューのレポート フィルタ フィールド

このリリースでは、グリッド ビューまたはグラフ ビューでのフィルタ フィールドの表示はサポートされていません。[レポート定義 (Report Definition)] > [フィールド (Fields)] > [フィルタ フィールド (Filter Fields)] は、レポートの実行時にフィルター条件を設定する目的のみ使用可。以前のリリースで作成されたフィルタ フィールドを使用したレポート ビューは、12.0 にアップグレードすると、(レポートの実行時) 誤った結果を取得する場合があります。そのため、レポートを実行する前に、該当するビューからフィルタ フィールドを削除してください。

ユーザの役割: ログイン ユーザ

[ログインユーザ (Login User)] チェック ボックスが [ユーザロール (User Roles)] ページから削除されています。Unified Intelligence Center へのログインに使用されるログイン ユーザの役割はシステム内に統合されています。

ログイン ユーザを有効化あるいは無効化するには、管理者が [設定 (Configure)] > [ユーザ (Users)] > [ユーザの編集 (Edit User)] > [ユーザ情報 (User Information)] タブのトグル ボタンを利用できるようになりました。

レポート定義のインポートおよびエクスポート

このリリースでは、レポート定義の個別のエンティティとしてのインポートおよびエクスポートはサポートされていません。レポートをインポートまたはエクスポートすると、対応するレポート定義がインポートまたはエクスポートされます。

サードパーティ ソフトウェアへの影響

なし